

# HOT DIP GALVANIZING

株式会社大野メッキ工業所



鉄を錆から守る溶融亜鉛めっき技術を通して、  
広く社会に貢献しています。

都市を形成する夢の素材として

さまざまな分野に

幅広く活用されてきた、鉄。

その限りある資源を

「錆び」や「腐食」から守り、

さらなる可能性を引き出す

溶融亜鉛めっきは

従来の電力、土木、鉄道などに加え、

現代建築においても

基礎素材としてだけではなく

めっきの持つ耐食性と

その強靱な美しさで

外装素材としても

注目を浴びています。

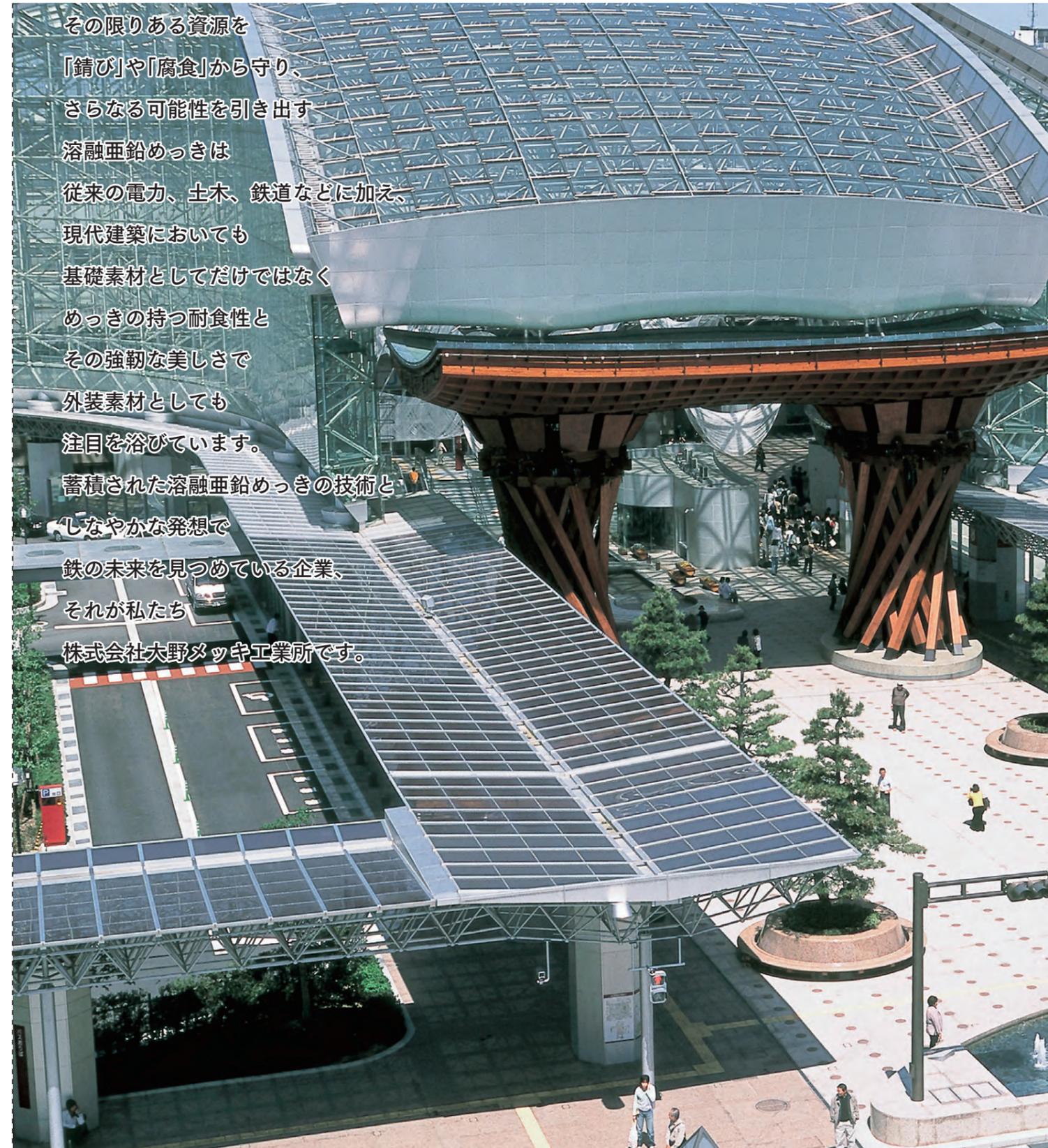
蓄積された溶融亜鉛めっきの技術と

しなやかな発想で

鉄の未来を見つめている企業、

それが私たち

株式会社大野メッキ工業所です。



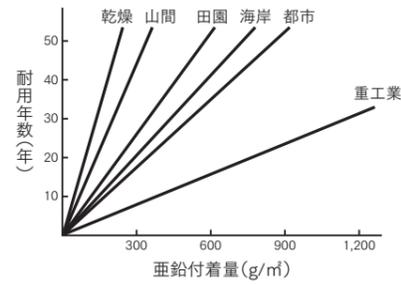


## ■ 溶融亜鉛めっきの特性

### 1 すぐれた耐食性

めっき表面に生成する緻密な保護皮膜と電気化学的防食作用によって鉄鋼製品を長期間錆から守ります。

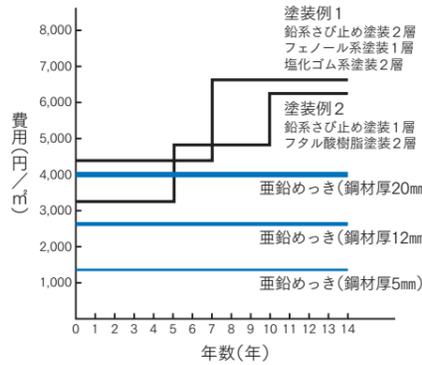
#### ■ 亜鉛付着量と環境別耐用年数



### 2 すぐれた経済性

長期間にわたって防食効果があり、メンテナンスフリーですので他の表面処理方法と比較しても、最も経済的です。

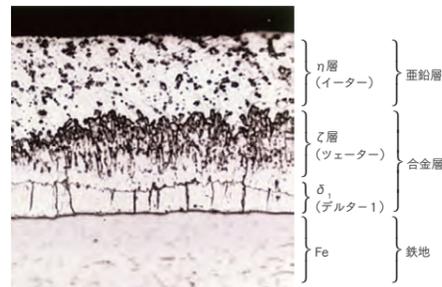
#### ■ 溶融亜鉛めっきと塗装とのコスト比較



### 3 すぐれた密着性

溶融亜鉛めっきの皮膜は、鉄地と亜鉛の合金反応によって密着していますので、塗装等比べて衝撃、摩擦に強く、輸送、建設時の損傷が少なくて済みます。

#### ■ 溶融亜鉛めっき層の顕微鏡写真



### 4 隅々にまで均一にめっき

溶融亜鉛に浸漬してめっきを行いますので、パイプの内面やタンクの内面など目に見えない部分や手の届かない部分でも均一にめっきが出来ます。

#### ■ 亜鉛の犠牲防食作用

	亜鉛めっき	塗装
キズの発生		
腐食の進行	亜鉛の犠牲防食作用により鉄は腐食されない	粗い鉄さびにより塗膜が大きく破れ腐食が進行する

# ムダのない工程管理で ニーズの長大化、複雑化にも対応。

溶融亜鉛めっきは、1837年ヨーロッパで開発されました。

東京電力猪苗代幹線の鉄塔は、大正時代に日本に納入されましたが、今も錆びること無くその雄姿を保っています。

当社は、その優れた防食効果に更なる研究と開発を積み重ね、管継手から大型構造物まで、様々なサイズや形状に最も適した製造工程をプランニング致します。

広いヤードや10mを超える大型層をフル活用し、出荷希望日までを万全の管理・保管体制の下、年々多様化するお客様のニーズにお応え致します。

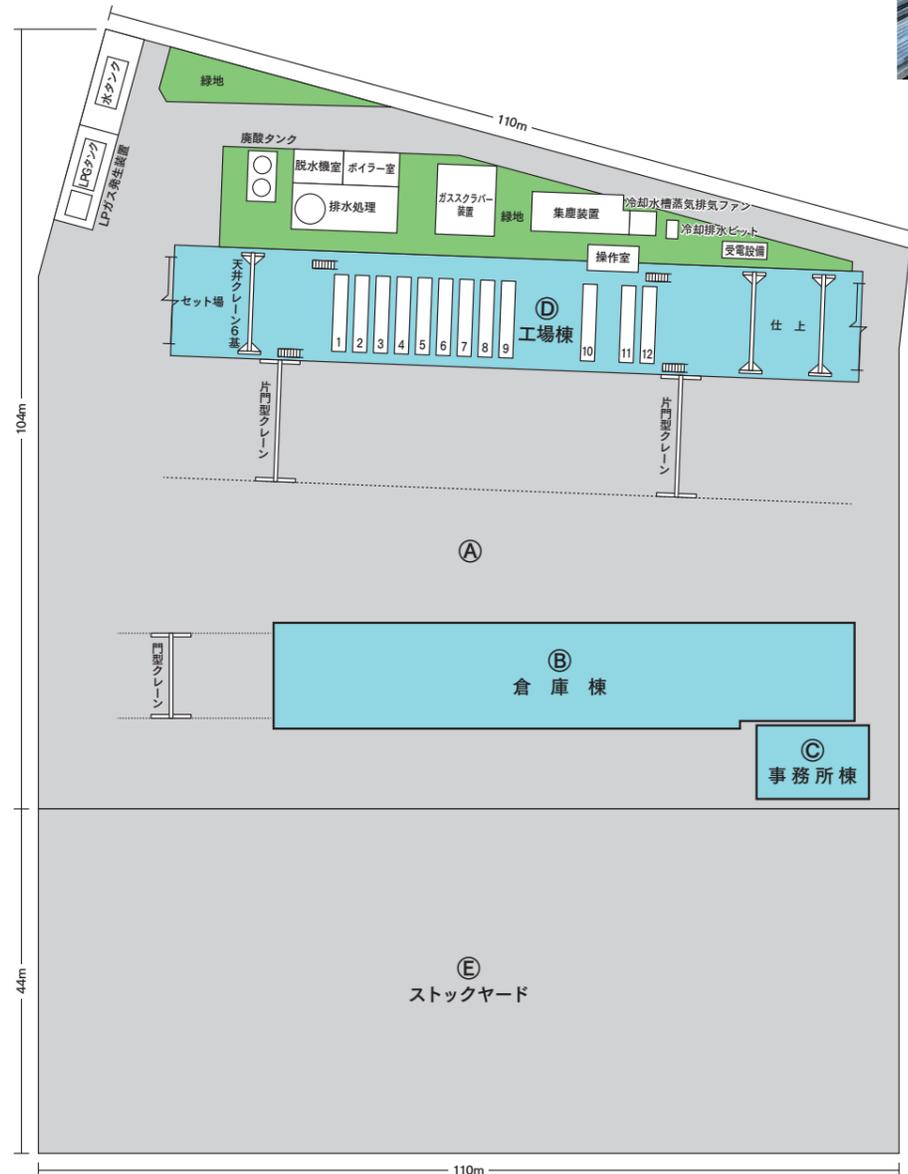


倉庫棟



ストックヤード

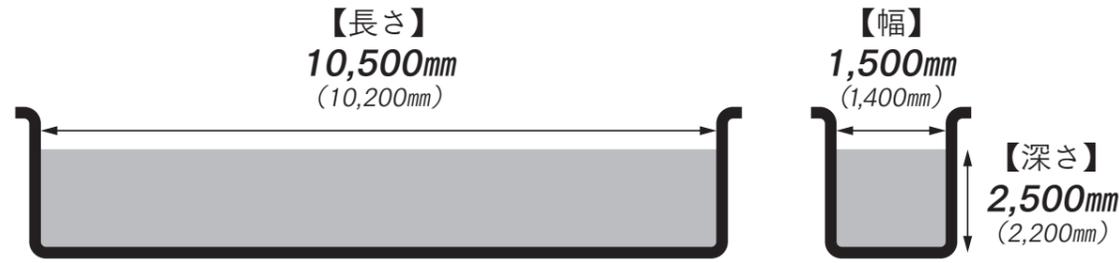
## ■ 工場配置図



	棟名	面積 (m <sup>2</sup> )	坪数 (坪)
A	総敷地面積	15,000	4,500
B	倉庫棟	1,080	324
C	事務所棟	210	64
D	工場棟	1,400	430
E	ストックヤード	5,000	1,500

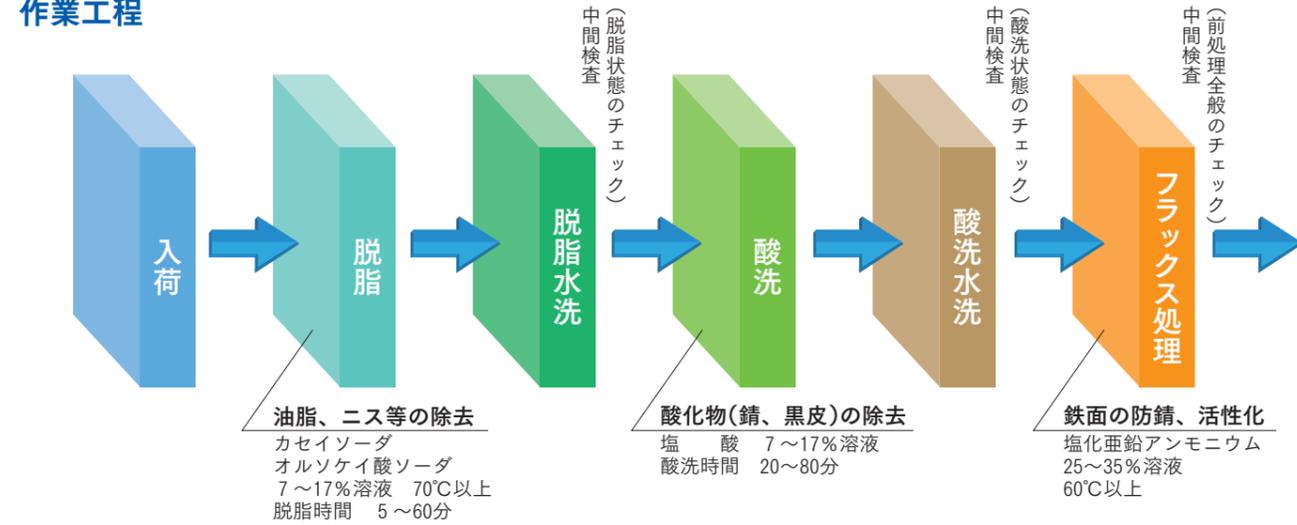
No.	名称
1	脱脂槽
2	脱脂槽
3	脱脂水洗槽
4	酸洗槽
5	酸洗槽
6	酸洗槽
7	酸洗槽
8	酸水洗槽
9	フラックス槽
10	めっき槽
11	冷却水槽
12	一時防錆処理槽

■ めっき槽

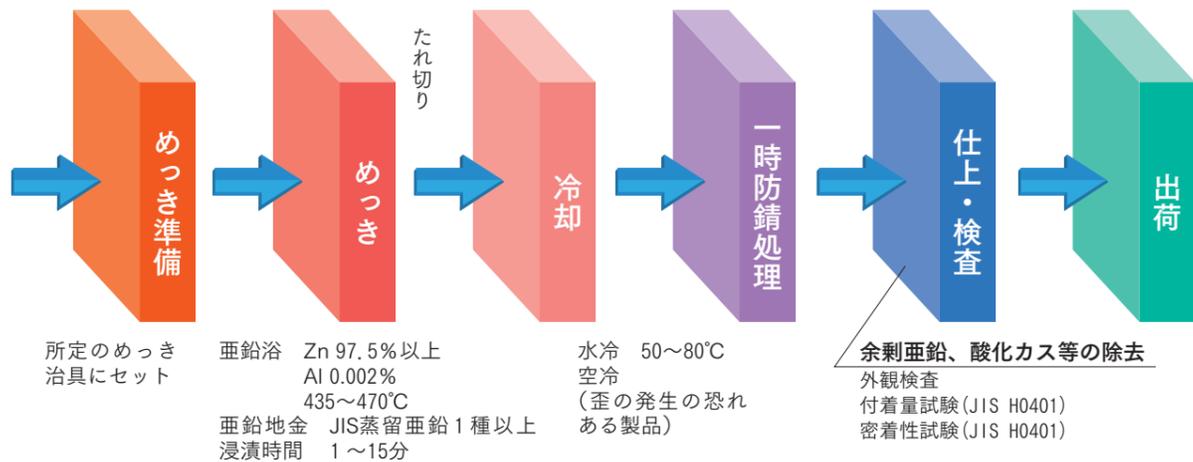
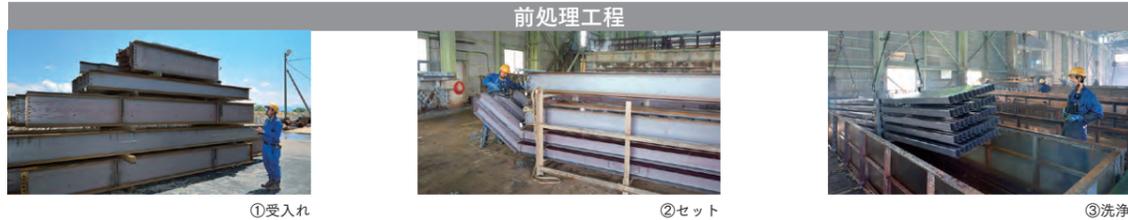


( )内は有効標準寸法  
※有効標準寸法を超える場合は個別にご相談ください。

■ 溶融亜鉛めっき作業工程



前処理工程



めっき工程



仕上げ工程



さまざまな分野で活躍する当社の製品。

さまざまなシーンをより頑強に、  
そして美しくサポートする溶融亜鉛めっきは、  
付加価値の高い製品として、  
シビアな環境条件のもとでも  
長期間にわたって確かな強さを発揮します。  
次々に新たなるニーズを予感させる  
溶融亜鉛めっきの無限のフィールドに、  
私たちは独自の技術開発力でチャレンジを続けます。





JIS表示認証工場  
認証番号 TC0408084



北陸新幹線 防音壁支柱



AUBU II ビル 立体駐車場

## 概要

- 商号 株式会社 大野メッキ工業所
- 所在地 石川県金沢市湊 1丁目55-3
- 設立 昭和23年 6月
- 資本金 1,000万円
- 月間生産能力 1,000トン
- 工場敷地 15,000㎡
- 物流倉庫 1,200㎡
- 従業員数 40名
- 取引銀行 日本政策金融公庫  
北國銀行問屋町支店  
北陸銀行金沢駅西支店

## 設備概要

- めっき槽 10,500mm×1,500mm×2,500mm 1
- 脱脂槽 10,000mm×1,500mm×2,500mm 2
- 酸洗槽 10,700mm×1,600mm×2,700mm 1
- 酸洗槽 10,000mm×1,500mm×2,700mm 1
- 酸洗槽 10,000mm×1,500mm×2,500mm 1
- 酸洗槽 10,000mm×1,500mm×1,820mm 1
- 水洗槽 10,000mm×1,500mm×2,500mm 2
- フラックス槽 10,000mm×1,500mm×2,500mm 1
- 冷却槽 10,500mm×1,700mm×2,500mm 1
- 一時防錆処理槽 10,000mm×1,500mm×2,500mm 1
- 天井走行クレーン 2.8 t 3
- 天井走行クレーン 1.4 t 16
- めっき用電動ウィンチクレーン 4
- 塩酸貯蔵槽 20㎡ 1
- 排ガス装置一式 1
- LPG貯蔵槽 1
- 集塵装置バックフィルター一式 1
- 排水処理装置 1
- ボイラー設備 1

## 沿革

- 昭和23年 6月 金沢市大野町 2丁目49番地において電気亜鉛、ニッケルクロームめっきを主体に創業
- 昭和41年 6月 溶融亜鉛めっき操業開始
- 昭和54年 6月 現在地の金沢市湊 1丁目55-3 に溶融亜鉛めっき工場を設立、生産能力の増強を図る
- 昭和58年12月 資本金500万円で法人組織とする
- 平成 2年 6月 電気亜鉛、ニッケルクロームめっきを廃止する
- 平成 3年11月 溶融亜鉛めっき加工技術についてJIS表示許可工場の認定を受ける(許可番号491019)
- 平成 4年 3月 金沢市東蚊爪町 1丁目23番地 7 に物流倉庫を新設する
- 平成 5年 3月 工場拡張増設工事完了
- 平成 5年 7月 資本金を1,000万円に増資する
- 平成10年10月 新工場完成、稼働開始
- 平成16年 5月 倉庫棟を増改築
- 平成17年10月 第一ヤードを増設
- 平成20年 9月 新JIS表示認証工場となる(認証番号TC0408084)
- 平成21年 3月 隣接地に新たに第二ヤードを増設(1,500坪) 総敷地面積が約4,500坪となる
- 平成28年 5月 めっき槽を拡長・拡幅  
10,500mm×1,500mm×2,500mm (旧サイズ9,500mm×1,300mm×2,500mm)

JIS表示認証工場 認証番号 TC0408084

大野メッキ工業所

〒920-0211 石川県金沢市湊 1丁目55-3  
TEL 076-237-4111 FAX 076-237-6762  
<https://www.oono-mekki.co.jp/>



事務所棟



工場棟

